

はりま病院広報誌



第15号

2014年10月 発行

編集発行

特定医療法人社団仙齡会

はりま病院 広報委員会

健康寿命～終末期の医療

院長 大田 博之

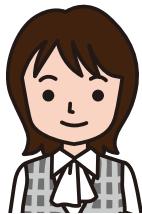


9月15日敬老の日に、65歳以上の高齢者が4人に1人、75歳以上が8人に1人になったことが報道されました。日本人の平均寿命は、年々上昇し、2013年では、男性80.21歳、女性86.61歳、女性は世界一を維持し、男性も初めて80歳を超えて世界4位になりました。平均寿命が伸びた要因として、心疾患、脳血管疾患、肺炎の死亡数が減ったことのようです。医療の進歩によるところが大きいと思います。

テレビでは、水泳で世界記録をたくさん持っている100歳のおばあさんや陸上で活躍している86歳のおじいさんなど元気なお年寄りを紹介していました。長生きすることは喜ばしいことですが、元気で長生きすることを皆さんは望まれていることだと思います。しかし、90歳をこえて意思疎通も出来なくなり、寝たきりの状態で徐々に食べる意欲も飲み込む力も落ちてきたときに、胃瘻を造つて食べられない分を直接胃の中に栄養剤を入れて長生きする。自分では寝返りも打てないような状態で、栄養は胃瘻から十分に入るため生きていくことはできます。老健施設などにはこのような高齢者がたくさんおられます。皆さんは、ご自身がそうなったときに胃瘻を希望されますか？

このような話をすると、脳梗塞で突然倒れた60代の方が嚥下障害をみとめても胃瘻をするなど言うことなどと反論される方もおられますが、そうではなく、平均寿命を超えて徐々に弱っていかれ、徐々に食事量も減り活動性も低下したいわゆる老衰と考えられる時に、胃瘻を積極的に造りますか？と言っているのです。

私個人としては、健康で長生きはしたいですが、老衰で寝たきりになり食べられなくなってしまふは造りたくありません。このような状態の時には、ご自身ですでに判断できないような状態にならせておられ、ご家族に相談して胃瘻を造るかどうか決めることになります。アンケートを取ると殆どの方が、自分では胃瘻は造らないと回答されますが、ご家族の場合には造ってくださいといわれることがあります。判断がしっかりできる時期に、終末期、老衰等の時にどこまでの治療を希望するかを家族でしっかりと話し合ったり、文章にしてかかりつけ医に渡しておいたりするのも大切なことだと思います。



医事課の紹介

医事課 主任 川西恵美

当院の医事課についてご紹介いたします。

総務人事部所属である当院医事グループは、主任1名、リーダー1名を含む全19名（常勤12名、パートタイマー7名）で医事業務を行なっております。業務内容は外来コンシェルジュ2名（初診患者、紹介患者、入院患者の案内等）、外来医事7名（再診受付、保険証確認、文書受付、一部負担金の授受、外来会計計算、外来レセプトの点検・修正、健康診断予約及び請求業務、電話応対、スキャナー取り込み等）、予約センター業務2名（外来医事も兼務）（他院からの検査予約業務）、入院医事2名（入退院登録、入院会計計算、電話応対、入院レセプトの点検・請求等）、診療情報管理室2名（退院サマリー管理、DPCデータ作成、統計資料作成、スキャナー取り込み等）、医療クラーク3名（医師事務作業補助業務、紹介状の返書・患者さんから依頼文書の作成等）など、多種多様であります。

患者様が病院に足を踏み入れて1番最初に出会う病院の人＝受付であり、『ホスピタリティ=おもてなし』の心を忘れずに、そして、患者様と病院との良き架け橋になれる部署として、頑張ってまいりたいと思いますので、何なりとお気軽にお声かけ下さい。



受付



診療情報管理室



医療安全管理対策委員会

主任看護師 中西延子

医療安全管理部では、各職場における医療事故防止・医療安全活動の中心となり、医療事故の原因及び防止方法や医療体制の問題点と改善方法についての検討を行っています。患者さん・家族・職員を含めた病院内の全ての方の安全を守るため、またその取り組みを推進し、より安全な医療を提供できるよう日々活動をしています。

安全な医療のために、予想外の事象が発生した時には、今後そのようなことが起こらないために対策を検討しています。取り組みの1つとしてリストバンドでの名前確認や、アレルギーの有無 他院処方薬の確認、院内感染予防や転倒・転落防止対策など行っています。患者さんに安全で有効な医療を提供するために、病院全体の医療安全管理対策の取り組み・変更、医療安全管理のための研修及び教育計画の立案も行っています。

また、決定した事故防止及び安全対策に関する事項の、職員への周知徹底を行なっています。医療安全のため医療者は色々な取り組みをしていますが、医療における満足度を高めるためには、患者さんから色々な方法で意見を聞き、改善に向けて努力していかなければなりません。 安心・安全な医療のためには、患者さん・家族の皆様のご協力が欠かせません。何かご意見やお気づきの点がございましたら 些細なことでも遠慮なくお伝えください。皆様からの視点でしか見えない大切な意見や指摘がありますので、何卒よろしくお願ひいたします。

サマーコンサート

7月26日の午後、病院受付前待合でサマーコンサートを開催いたしました。

3グループの演奏で、じっと聴き入ったり、楽しい曲では手拍子が発生したり“ふるさと”や“青い山脈”を皆で歌ったりと楽しいコンサートでした。

次回は12月中旬にクリスマスコンサートを予定しております。日時が決定いたしましたら院内に掲示いたしますので、ぜひお立ち寄りください。





新人職員紹介



看護師
やまにし のりこ
山西 紀子

7月7日より3階病棟で勤務させて頂いております。新しい環境で働く事は不安で一杯でしたが、スタッフ間の人間関係も良く、また、わからない事に対しても親切に教えて頂き、少しずつではありますが、慣れてきたように思います。大好きな外科病棟での勤務なので、これからもたくさん学びを得られるよう努力していきたいと思います。まだまだ至らない点もありますが、今後ともよろしくお願ひ致します。



看護師
てらにし さとみ
寺西 里美

5月12日より外来で勤務させて頂いています。別の病院での勤務経験はあります、環境が変わるとすべてが真新しく戸惑うことが多い毎日です。不安と緊張のくり返しだけですが、スタッフの方々に丁寧にご指導して頂き、徐々にではありますが、笑顔で患者様に接することが出来るようになりました。まだまだご迷惑をかけする事も多いと思いますが、一日でも早く外来看護師としてお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



准看護師
ふじわら ゆみこ
藤原 弓子

9月1日より外来に勤務させて頂いています藤原弓子です。初出勤の日まで、移転して3年のピカピカの病院で働けることを、わくわくと心待ちにしていました。新しいスタートは、初心にかえる絶好の機会です。今まで経験した中で、自分のやり方になってしまっていることの一つ一つを見直し、新しく見聞きすることを基本から理解し、早くお役に立てるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。



看護師
ふじわら ゆうか
藤原 侑加

7月16日より2階病棟に配属になりました、藤原です。看護師3年目の年で、知識・技術と未熟なうえ、消化器分野での勤務は初めてなので、ご迷惑をかけすることもあるかと思いますが、日々学び、精一杯の看護をしていきたいと思います。ご指導よろしくお願ひします。

旬の料理

10月といえば祭の季節。祭の日に鯖寿司やこのしろ寿司をしてみてはいかがでしょうか?

すしめしの作り方

| | |
|-------------------|-------------|
| (鯖寿司3本、このしろ寿司3本分) | |
| 米 | 3合 |
| 昆布 (10センチ角) | 1枚 |
| 酒 | 大さじ3杯 |

合わせ酢

| | |
|-----------------------|---------------|
| (好みによって酢、砂糖の量は変えて下さい) | |
| 酢 | 大さじ4~5杯 |
| 砂糖 | 50~60g |
| 塩 | 20g |

米は洗ってから30分おき、水、昆布、酒を入れて炊き始め、昆布は沸騰前に取り出して炊き上げる。ご飯が炊けたら飯台に移し、合わせ酢をかけつや良く仕上げるためにうちわであおぎながら切るように手早く混ぜる。

鯖、このしろの下処理の仕方

鯖、このしろは3枚におろし骨を取る。このしろは小骨が多いのでさらに観音開きにする。
鯖にはべた塩（たっぷりと塩をつける）をし、このしろは薄く塩をふる。

塩をしてから3時間置き、水洗いをして合わせ酢に3時間漬ける。

鯖、このしろの合わせ酢

| | |
|-----|-------------|
| 酢 | 600ml |
| みりん | 100ml |
| 砂糖 | 100g |
| 昆布 | 1枚 |
| 塩 | 5g |

酢から上げたものは一晩置き酢をなじませる。

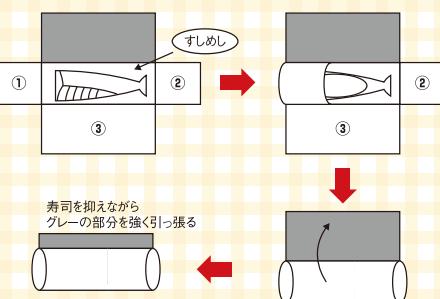
作る前に皮を引く。

棒寿司の作り方

| | |
|--------|----------------|
| 鯖寿司 | 250~300g |
| このしろ寿司 | 120~150g |

巻きすのうえに綿地のものを固く絞って広げネタを置き、すしめしは棒状にまるめネタの上に置く。布でくるむようにしながら、巻きすでしっかり形を整える。

巻きすがない場合は布で下のようにかたちを整える。



編 集 後 記

朝晩は涼しくなりましたが、いかがお過ごですか？ 今年の夏も暑かったです。私は、冷房には気をつけているつもりではいるのですが、毎年、夏風邪を引いてしまいます。ですので、私の課題は、風邪を引かず夏を乗り切ることです。皆様は、夏の疲れは出ていませんか？

松本